

東播磨

明石市・加古川市・高砂市・稲美町・播磨町

さらっとVision

第5号

東播磨地域ビジョン情報誌

特集 第7期東播磨地域ビジョン委員会が始動!



HIGASHI-HARIMA VISION

AKASHI
KAKOGAWA
TAKASAGO
INAMI
HARIMA



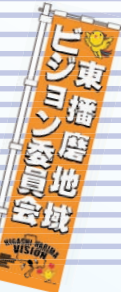
兵庫県マスコット はばタン



CONTENTS

- ★ 第7期東播磨地域ビジョン委員会が始動!
- ★ 東播磨地域ビジョン委員会が取り組む重点行動プランを紹介
- ★ 情報発信! ビジョンスポークスマン活動を紹介
- ★ ズームアップ! ~東播磨・西播磨地域ビジョン委員会 研修会&交流会~ ほか

特集 第7期東播磨地域ビジョン委員会が始動!



平成26年4月、第7期東播磨地域ビジョン委員会は、73名の委員によりスタートしました。「水辺」と「ものづくり」という東播磨の地域特性を踏まえ、「豊かな水辺を守り、生かす東播磨づくり」、「人・もの・情報が交流し、にぎわう東播磨づくり」をめざして、ビジョン活動を進めています。



第7期東播磨地域ビジョン委員会活動をエネルギーに展開!!

第7期東播磨地域ビジョン委員会 委員長 平山 彰

私達が、生活している・働いている・学んでいる東播磨が、こんな地域になればいいなあと、夢(ビジョン)を自分自身で描いて現実を夢に近づける活動が、ビジョン活動そのものです。

平成26年4月からスタートした第7期の活動も、16グループの重点行動プランが順調に動き出しています。県民意識調査で「住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合」は、県下でワースト1が長年続いてい

ましたが、平成26年の調査では61.4%でワースト1を脱出し、右肩上がりのトレンドになっています。

先輩諸兄はじめ皆さんが、ビジョンの活動を中心に積み重ねたことが寄与しているものと思われま

す。これからも重点行動プランを先頭に、スポークスマンの取組みを含め地域の皆さんと共に、「水辺・ものづくりのまちで生きる」の理念で、誇りの持てる東播磨実現に向けて活動を進めますので、今後とも宜しくお願いします。

16の重点行動プラン成立の経緯

○重点行動プラン(地域ビジョンの実現に向けて重点的に取り組むプラン)が提案されるまで

- ・平成26年6月7日 第3回全体会でアイデア発表
ビジョン委員から、東播磨地域ビジョンを実現するための41のアイデアが提案
- ・平成26年7月18日 重点行動プラン検討会・第1回分科会
アイデアを基に重点行動プラン作成に向けてプランの素案を発表・意見交換
- ・平成26年8月3日 第4回全体会・重点行動プランプレゼンテーション
16のプラン(案)をプレゼンテーション・意見交換



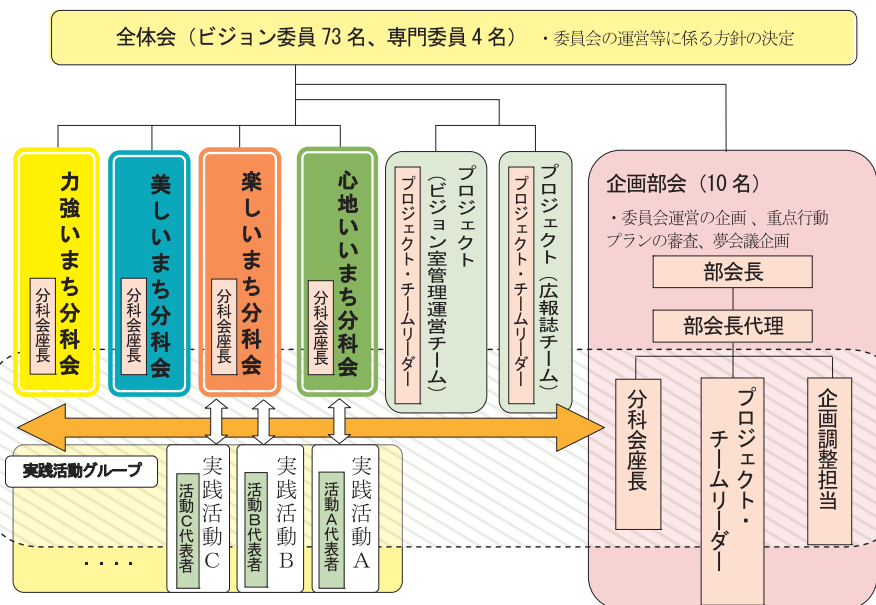
重点行動プラン支援会議の様子

○新たな取組「重点行動プラン支援会議」の開催とプラン成立

第7期では、重点行動プランをブラッシュ・アップするための新たな取組として「重点行動プラン支援会議」を開催。これは、企画部会(※)のメンバーが助言・アドバイスすることにより、より良いプランの実現を目指したものです。様々な意見が出される中で、時には白熱した議論が展開されるなど、参加者全員でプランの支援に取り組みました。また、今後のビジョン活動の参考になるよう、会議は誰でも参加できるオープン形式としたところ、新しいプランを検討している委員も傍聴に加わり、熱心に議論に耳を傾けていました。
(※ビジョン委員会運営の企画等を担当)

3回にわたる支援会議の結果
16の重点行動プランが成立!
(前期比4プラン増)

第7期東播磨地域ビジョン委員活動の推進体制について



東播磨地域ビジョン委員会が取り組む 重点行動プランを紹介!



1 心地いいまち(暮らしづくり)

法華山谷川流域からの“防災・減災” & “自主防災会の連携”

グループ: 地域防災・減災推進グループ 代表 赤堀 敬二

平成23年の台風12号により、法華山谷川流域が浸水被害を受けました。その後、対策を協議する中で、上流域(富木地区)からの協力があり、このグループが結成されました。まさしく「水が取持つ縁」であります。

河川の問題は一地域のみでは解決できるものではありません。流域の多くの人々が手を携え、ため池の豪雨時の事前放流、「田んぼダム」等を実践し、地域の安全・安心環境づくりを目指します。その媒体である自主防災組織を立ち上げ、地域を超えたコミュニティづくりに取り組んでいきます。

【活動報告】

加古川市から高砂市を流れる法華山谷川流域のいくつかの自治会が中心になって地域の防災・減災を中心に安全・安心のまちづくりを進めています。各自治会には自主防災組織がありますが、充分機能する状態にはありません。

東播磨地域ビジョンを実現するために、①心地いいまち、②楽しいまち、③美しいまち、④力強いまちという4つの将来像をイメージしています。この将来像に向けて、ビジョン委員を中心とした実践活動グループが16の重点行動プランに基づいて活動しています。

そこで、「自助・共助・公助」を考え、自ら何ができるか、また、何をすべきかについて、子どもから高齢者まで参加する研修会を開催し、実施する自治会を拡げています。また、農業施設を利用した「ため池貯留」や「田んぼダム」の研究や実施状況の把握を地域の農業者・大学生・行政の皆さんと一緒に進めています。



地域防災組織の役割を
考える研修会 in 長慶自治会



地域防災・減災の課題を
検討する会議風景

2 楽しいまち(人づくり)

わくわくドキドキ仕事体験

グループ: 夢のたね 代表 尾上 満子

東播磨地域の将来を担う子ども達に、地元で活躍する職業人が講師になって出前職業体験と職業人との対話を実施。真剣に将来を考え、職業観を持つきっかけになればと願い「職業人と語ろう」を開催しています。また、子ども達に「夢みる力」を芽生えさせ、「夢をかなえる力」を育てていくには、「わくわ

くドキドキ体験」が大切と考え、「東播磨きっず仕事塾」「東播磨きっずわくわく体験教室」等も開催しています。

【活動報告】

『夢のたね』は、「職業人と語ろう」という取組で多くの皆様に知っていただくようになりました。毎年夏休みには、わくわくドキドキ仕事体験プログラム『子どもわくわく体験広場』と題して、東播磨地域の企業を訪問し「東播磨きっず仕事塾」と「東播磨きっずわくわく体験教室」を同時開催しています。

今年、平成26年8月26日(火)に33名の子ども達が、BAN-BANネットワークス(株)でアナウンサー・カメラマン等、ケーブルテレビ局のお仕事体験をした後、伝統工芸のからくり屏風とわり箸鉄砲づくりに挑戦しました。

『子どもわくわく体験広場』は、子ども達に地元で活躍する企業や産業を身近に知ってもらう取組として、これからも夏休みに開催していきます。



「東播磨きっず仕事塾」カメラマン体験

『東播磨将棋普及隊』

グループ:『東播磨に駒音を響かそう』 代表 内藤 秀彰

『東播磨将棋普及隊』は、将棋を通じた青少年の健全育成に尽力するべく活動しています。

子どもに将棋を広めるため、年1回子ども将棋大会を開催しています。また、シニア世代間の交流機会を促すための交流会を実施するとともに、子ども将棋大会の運営協力や、子ども達との交流の場を設けることにより、異世代交流も行っています。

【活動報告】

11月15日(土)、加古川総合庁舎2階において、各公民館の活動団体の交流会を開催しました。加古川市・播磨町から合わせて5ヶ所の公民館等の将棋団体から参加があり、将棋を通じて交流することができました。また、各将棋団体の協力いただき、12月20日(土)に同所で「少年



子ども将棋大会の様子

少女将棋大会」を開催し、その後子ども達と各将棋団体の先輩方との交流の場を設けました。初めての試みでしたが、異世代交流は、子ども達・シニア世代の双方にとってとてもいい経験になりました。

論語に学ぶ

グループ:仁讓塾(論語素読会) 代表 浅見 純子

論語を通じて、子ども達の豊かな心を育成し、道徳心のある大人へと成長して欲しいとの願いを込めて活動しています。2500年前にできた論語が、現代までの長い間多くの人々に愛読されてきました。

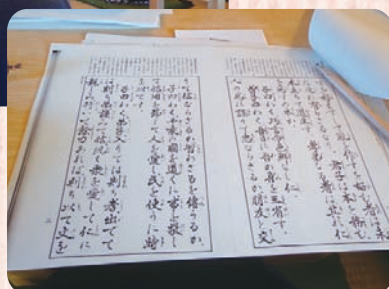
一人でも多くの方が、私達の祖先の血肉となり、バックボーンとなった、この優れた東洋の古典・論語に親しむ機会を持てるように、「仁」と「讓」を根本理念として実践活動に取り組んでいきます。

【活動報告】

仁讓塾では、10月18日(土)、高砂市指定文化財・申義堂(江戸時代の学問所)において「第1回論語素読教室」を開催しました。20名近い方の参加があり申義堂はたちまち人でいっぱいになりました。私達は、始めに子どもと大人と一緒に声を揃えて、「仮名論語学而第一」の素読を行い、続いて閑谷学校の「あいうえお論語草句」を漢文で読むことに挑戦しました。4才の時から大人に交じって論語を読んでいる小学校2年生の女の子が、あ行の章句を暗誦すると一斉に拍手が起り、和やかでとても幸せな時間が過ぎて行きました。



「あいうえお論語草句」の素読



子曰しのたまわく
学またよろこびて時に之これを習う
亦またよろこ説またよろこばしからずや
朋とも遠とほ方かたより来きたる有り
亦またよろこ樂よろこしからずや
人ひと知しらずして慍うらみず
亦またよろこ君子くんしならずや

WAN WANコミュニケーション

グループ: Dog With 代表 原 恵理

コミュニケーション能力や命の尊さへの希薄化が懸念される現代、「人」対「人」の絆を結びかけづくりとして、心理学や動物行動学も取り入れながら、犬を介在した教育訪問活動を行います。この取組を通して、これからの時代を生きる子ども達の豊かな人間性を育み、優しくいたわりあえる地域づくりを進めていきます。

【活動報告】

「人間と犬とのコミュニケーション」と「命の大切さをほんの少し身近に考える」を目的に、高砂市内の5校(5月29日(木)阿弥陀小学校、7月11日(金)北浜小学校、10月18日(土)荒井小学校、10月24日(金)高砂小学校、11月29日(土)伊保南小学校)へ訪問し、子ども達に「ふれあい授業」を実施しました。

近年では、住宅事情によって家庭で犬を飼うことができないことがあります。そんな子ども達に「危険な犬とは?」「もし出会ったらその対処は?」「飼い主のいる犬に触るには?」等知っているようで知らないことを伝え、また命の大切さについては紙芝居を通して低学年の子ども達と一緒に考えました。犬に触れない子が、帰るころには積極的に前に出て声を出して笑い、もっと犬に触りたいと

言っていました。

お勉強ばかりでなく、一緒にクイズやゲームをすることによって犬の可愛さ、愛おしさを感じてもらえればと思い頑張っています。一度に沢山は覚えていないかもしれませんが、記憶のどこかに楽しかったことと一緒に覚えてくれていると嬉しいです。

この他、ハートランドぐり石ネット「Dog & Walking パトロール Club」と連携して防犯活動にも取り組んでいます(5ページ参照)。



「Dog & Walking パトロール Club」にて防犯活動に取り組む犬たち



高砂市立高砂小学校での「ふれあい授業」の様子



高砂市立阿弥陀小学校での「ふれあい授業」の様子

弁論大会を通じて子どもの思いを世間に伝えるとともに、地域社会において自らができることを考えてもらうプラン

グループ: ハートランド弁論大会実行委員会 代表 宮先 一勝

「子どもとともに地域をつくる」との基本理念のもと、子どもの思いを聞き、子どもを理解するとともに地域社会に対する子どもの意識を醸成するため、3市2町(明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町)の中学生を対象とした弁論大会を8月に開催します。また、それぞれの思いの実現に向けた働きかけを行うため、「未来のまちを考える中学生の集い」を開催し、各市町との意見交換会を検討しています。

【活動報告】

今年は814名の応募者の中から書類審査を経た14名が、8月17日(土)加古川総合庁舎5階会議室で発表しました。今大会の優勝者は、9月28日(日)に兵庫県民会館で行

われた県大会に出場し、奨励賞に輝きました。

今後は、出場者と各市役所、町役場の方との意見交換会も計画しています。



弁論大会の表彰式

子ども体験学習クラブ

グループ:チャレンジ・ナビ 代表 廣内 一政

子ども達が、日常的にネット情報の波にさらされ、様々なストレスを抱えていることは想像に難くないと思います。このような状況の中で、「チャレンジ・ナビ」では子ども達が日常生活の中では体験することの少ない体験学習の場を提供します。

体験することで何を学んだか、結果ではなくそのプロセスを大事にして欲しいと願って、活動していきます。



ネットワークで地域連携支援

グループ:ハートランドぐり石ネット 代表 秋好 一

活力ある東播磨地域をめざし、人と人、ボランティア団体と各種団体をつなぐネットワークの拡充や、お互いが求めるニーズに応えられる情報を提供するため、社会福祉協議会・自治会等と協働した「ふるさと探訪」を開催し、各種団体との密な協働活動に取り組みます。また、地域で活動する個人、団体を対象に、勉強や情報交換の場となる「ボランティアの井戸端会議」を開催し、活動をはじめようとする人につながるの機会を提供します。

【活動報告】

①9月27日(土)、青少年の健全育成を目指し、播磨町古宮公民館と良仙寺を会場に「坐禅とニュースポーツに挑戦」を実施し、18名の参加がありました。午前は体育室を利用してラダーゲッター、皿回し等を楽しみ、マンカラで一喜一憂しました。

午後は良仙寺で坐禅を組みました。住職に所作の説明を聞き、鐘の合図で40分沈黙し、厳かな空気が本堂に流れました。子ども達の頑張る姿に感動しました。



坐禅に挑戦中！

②今年度から安心安全のまちづくりを目指す取組「Dog & Walking パトロール Club」を、県警・近畿警察官友の会加古川の会・交番花くらぶ・Dawg Withと協働で発足しました。犬の散歩やウォーキングの時に地域のパトロールを兼ねる、無理なくできるボランティア活動です。10月7日(火)に東加古川駅南ロータリーで、加古川市長、加古川警察署長、平岡北幼稚園の皆さんを始め、ゆるキャラのかんべえ君たちも参加して、にぎやかに楽しく発足イベントを開催しました。



「Dog & Walking パトロール Club」の発足イベント

③11月2日(日)、「知ってるようで知らなかった加古川町！新発見！ウォーキング」を開催し、74名の参加者がありました。歴史研究家三浦先生のガイドにより、なるほどと納得しながら「出世稲荷神社⇒胴切れ地蔵⇒龍泉寺(「光姫物語」の紙芝居も鑑賞)」のコースを散策し、身近な歴史に感動しました。ゴールは、「ボランティアメッセ2014」の会場である加古川総合福祉会館で、こちらのイベントともコラボレートし、楽しい一時を過ごしました。



「知ってるようで知らなかった加古川町！新発見！ウォーキング」 in 龍泉寺